

会議名	第1回八名地域協議会		公開
日時	平成30年4月16日(月) 午後7時30分～午後9時30分	場所	一鍬田公民館 集会室
出席者	(委員) 伊田雅美、宮部直樹、安形昇、安形武、中村温志、続木数枝 小林明、小柳津芳久、加藤昌彦、藤田桂、加藤久美子、夏目祐輔 中村智宏、安形真弓、安形香余、井下典子、松井真理、小柳津美幸 山本いづみ、井上こずえ、滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興課：西村課長、中村主査 自治振興事務所：松井所長、黒田主任		
欠席者	(委員) 恩田敏明	傍聴者	0名
配布資料	次第、八名地域協議会委員名簿、平成30年度への引き継ぎ事項、 地域活動支援員制度の概要、地域活動交付金事業募集チラシ、地 域自治区予算事業参考資料(H29地域協議会だより第31号)、 八名地域協議会における主な役割、地域協議会開催スケジュール		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p><b>1 開会</b> 所長が挨拶を行い、その後事務局の自己紹介を行った。</p> <p><b>2 八名地域協議会委員任命式</b> 地域協議会委員として委嘱される方へ、辞令の交付を行った。 その後、地域協議会委員の自己紹介を行った。</p> <p><b>3 説明</b></p> <p><b>(1) 八名地域協議会の運営方針について</b> 事務局から、昨年度の八名地域協議会からの引き継ぎ事項について説明し、今年度の運営方針として、「地域協議会に分科会を設置すること」「地域活動交付金事業の前年度審査を引き続き検討すること」「八名地域計画を最大限活用して地域づくりを行うこと」を確認した。</p> <p><b>(2) 地域活動支援員について</b> 事務局から、地域活動支援員制度の概要を説明し、八名地域自治区へ配置されている地域活動支援員の紹介を行った。</p> <p><b>(3) 地域活動交付金事業について</b> 事務局から、現時点で多くの地域活動団体から交付金の申請に関する相談を受けていることを報告した。</p> <p><b>(4) 地域自治区予算事業について</b> 今年度実施する地域自治区予算事業の説明を行った。</p> <p><b>(5) 地域計画について</b> 前年度の地域計画策定分科会長より、地域計画策定の経緯と昨年度公表した「八名地域計画」についての説明を行った。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4 議事

事務局で本日の会議成立の報告を行った後、会議録署名委員の選出方法の提案を行い、承諾いただいた。今年度も昨年度と同様、会長及び会長以外の2名の方（名簿の順）に署名していただくこととなった。

##### ・ 会長、副会長の選任

委員の推薦により、会長に山本いづみ氏が選任された。

また、協議の結果、今年度についても昨年度と同様「地域活動交付金分科会」「地域自治区予算分科会」「地域計画分科会」を設置することと、それぞれの分科会長が副会長を兼任することとなった。（委員の提案により「地域計画策定分科会」の名称を「地域計画分科会」に変更することとなった）

その後、各地域協議会委員から希望する分科会を聞き取り、分科会長（副会長）の協議を行った結果、地域活動交付金分科会長に加藤久美子氏、地域自治区予算分科会長に小柳津芳久氏、地域計画分科会委員に滝川多嘉子氏が選任され、職務代理の順位は、加藤久美子氏、滝川多嘉子氏、小柳津芳久氏の順となった。

<主な意見>

（委員）地域計画を策定していく中で、地域協議会はあくまで協議をする組織で、地域の課題解決や活性化のために何かを実行をする組織ではないことに気づきました。行政区をまたぐような課題等を解決できるような実行部隊を八名に作りたと思いますかどうか。

（委員）趣旨は分かるが、地域自治区予算に予備費的なものを計上できるように市に働きかけていくのではどうでしょうか。おそらく他の地域でも同様の課題があると思います。

（事務局）現時点では予備費的なものを地域自治区予算事業計画として建議することはできません。

また、実行部隊を作る場合も、地域から誤解を受けることのないよう、メンバー構成については十分検討する必要があると思います。

（委員）やはり地域協議会が臨機応変に自由に使える事務費が必要だと思います。

（委員）実行部隊については今後も検討していきたいと思います。

#### 5 その他

##### ・ 地域協議会の開催スケジュールについて

今年度の地域協議会開催スケジュールの内、5月までのスケジュールについて事務局から説明した。

<主な意見>

（委員）今年度、地域自治区予算事業により実施している地域情報収集・発信事業を八名小学校の図書館で開始して2週間が経ちました。これまで10名の方がお見えになりましたが、会議の場では聞けない地域の方の本音を聞くことができ、拠点の役割を果たしていけると手ごたえを感じています。

一方、図書室に大人がいることにより子供たちが図書室へ入りづらそうな場面があったり、地域の方から図書室へ入りづらいといった意見をいただいたりしています。

そのようなことから、拠点はもっと地域住民が気軽によれる場所が望ましいのではないかと感じています。そこで提案なのですが、拠点を開設している3日の内、2日を地域住民にとってもっと身近であるAコープ八名支店跡地に移してはどうでしょうか。この事業は共育推進を模索することも目的の一

つですので、1日はこれまでどおり八名小の図書室で実施したいと思います。

(委員) 良いと思います。やはり学校だと活動も制限される部分があると思います。

(委員) 無償で貸してもらえるのでしょうか。

(委員) 無償は難しいかもしれませんが、使用することに関しては理解を示していただいています。

(委員) 富岡診療所跡地はどうでしょうか。

(委員) Aコープ跡地は駐車場も広いし、住民にとって身近な場所だと思います。Aコープ跡地を第一候補として検討してはどうでしょうか。

(委員) それでは本日いただいた意見を基に、地域情報収集・発信事業の実施方法を改善していきたいと思います。

## 6 閉会